

じいちゃんのたんぼ

川南町立川南小学校 1年 黒木 壺香

わたしのいえでは、みさとのじいちゃんがつくったおこめをたべています。わたしは、じいちゃんのおこめでできたごはんがだいすきです。たべると、ふわふわしてところがあたたかくなります。ごはんをのりでまいたり、ふりかけやなつとうをかけてたべたりするのもすきだけど、そのままでもとってもおいしいです。

おぼんにじいちゃんのいえにいったとき、たんぼをみにいきました。たんぼは、うえからみると、ちくちくしそうなきれいなみどりで、ちかくにいくと、わたしのこしぐらいのたかさのいねがふさふさしていました。わたしは、これがぜんぶおこめになるんだなあ、おいしそうだなあとおもいました

たんぼは、どろどろしているのかなとおもったら、みずがなくてつちがちよつとかわいていました。じいちゃんが、

「おいしいおこめをつくるために、とちゅうでみずをぬいて、つちをかわかしとるところやとよ。」

といいました。じいちゃんに、おこめづくりでたいへんなことはなにか、きいてみました。じいちゃんは、

「いろいろあるけど、くさかりとかみずのかんりかな。たいふうで、みずにつかっただめになるたんぼもあるとよ。」

といいました。でも、あきのしゅうかくがたのしみで、おこめがたくさんとれたらうれしいといっていました。

わたしは、じいちゃんのはなしをきいて、おこめをつくるために、たいへんなことがたくさんあるんだなあとおもいました。これからもおこめをだいじにして、ごはんをひとつぶものこさずにたべようとおもいます。